

# ピアノ再生プロジェクト「復刻ノオト」

国際本部学生交流課長 内藤 梨那



## 1 九州工業大学にピアノ？

本学は今年で113年目を迎えますが、約60年前、本学50周年の際に、記念講堂に1台のピアノが寄贈されたことをご存じでしょうか。50周年の記念に建立された記念講堂に設置されたこのピアノは「世界三大ピアノ」と呼ばれるオーストリアのベーゼンドルファー社による名器であり、50周年記念式典の際には、本学創立者安川敬一郎氏の孫 安川定男氏の奥様であられる安川加寿子氏が演奏をご披露くださったと本学百年史に記載がございます。安川加寿子氏と云えば、日本の代表的ピアニストであり、指導者としても大変有名で東京藝術大学の教授を務められておられ

ました。大変すばらしい演奏会であったことが窺えます。  
ところが、その後あまり手入れがなされず、湿度の高い環境に置かれていたことから大変傷みがひどく、徽がはびこり、弦は多数切れ、ペダルは外れて倒れ、所々にガムテープが貼られている状況でした。



写真1 50周年記念演奏会の様子

そのような折に、本学の旧体育館をリノベーションする話が本格的に動き始めました。その際、本学執行部やリノベーション関係者の間で、

旧体育館と併せてピアノを修繕し、修繕後の旧体育館、すなわちGYMLABO（ジムラボ）へ移す話が持ち上がり、そこからこのピアノを大規模に修繕する運びとなりました。2021年秋から翌春にかけて、浜松の工場まで運搬しての大規模な修繕となり、浜松へ送り出す際には、本事業に関わる様々な職員・学生が記念講堂に集まり、お見送りをいたしました。

## 2 GYMLABOにピアノ？

ところで、明専会報916号にもございます通り、GYMLABOは産学官共創拠点としてのコワーキングスペースです。コワーキングスペースにピアノを置くのは大変珍しい事例であり、違和感を持たれる方も多いためです。ですが、私たちはこのピアノを一つのツールと考えておりまして、そこにはこのピアノが、人と人をつなぐツール、九州工大と地域をつなぐツール、九州工大の過去と今、そして未来をつなぐツールにしていきたい、という想いがございます。そういった点で、地域社会と繋がるGYMLABOの想いと重なる点が大いにあることから、このGYMLABOとピアノ双方の想いを

形にするために、キャンパスを超えた教職員・学生協働チームが発足いたしました。

## 3 ピアノ再生プロジェクト「復刻ノオト」

当プロジェクトは2021年夏に発足しました。メンバーは戸畑、飯塚各キャンパスのそれぞれ教員、事務職員、学生で構成された学内でもかなり異色の構成で、現在は30名で活動しています。前述の通り、2021年度の大半は、ピアノは浜松の工場にあったことから、2021年度は主に修繕後の体制づくりに重きを置いた検討を行いました。

まず問題となったのは、コワーキングスペースの利用者に配慮したピアノ利用体制を実現する方法です。そこから、ピアノの利用時間設定をはじめとしたさまざまなルール設定、ピアノを演奏できない時間も収録された学生の演奏により、ベーゼンドルファーの音を楽しめる天井スピーカー設置等のアイデアが生まれました。  
また、本プロジェクトが進むにつれ「記念講堂にピアノなんてあったの？」という声を聞くことも増え、学内を含めた認知度も大きな課題となりました。そこで広報に力を入れ、

## 大学だより

Twitterでの情報発信や広報動画作成に取り組みました。これらの広報にあたっては、修繕・調律をお引き受けくださった企業様にもご協力をいただき、修繕や調律の様子が分かる写真や動画の提供、さらに学生によるインタビューもお願いいたしました。加えて、せっかく工業大学に設置するピアノですので、ピアノを通して地域の方々、子どもたちにも工学に興味を持ってほしいという意見から、工学的な説明をピアノ横の扉に埋め込んで自由に閲覧いただける仕組みを作り、アクション模型の設置により、音の鳴る仕組みが子どもに分かりやすい工夫を施しました。今年度は、ピアノが人と人をつなぐツール、九州工大と地域をつなぐツール、九州工大の過去と今、そして未来をつなぐツールになるよう、具体的な企画を仕掛けていきます。演奏会などのピアノそのものを活用した企画はもちろん、前年度に引き続いて広報や運用体制整備を強化するとともに、SNSの反応やピアノ利用率、演奏曲の希望など、当ピアノに関する様々なニーズを調査する「分析班」や、ピアノの利用率や認知向上のための「グッズ制作班」など、13の班に分かれて活動を行っ

ています。また、さまざまなシーンでBGM演奏等が必要になることから、演奏スキルを持つ学生・教職員による「演奏チーム」を別途編成し、13班の「企画チーム」と連携しながらピアノ再生へ向けた取り組みを進めています。また、情報工学部の学生も当プロジェクトに複数参加していることから、GYMLABOにて両キャンパスの学生が交流する企画も行っています。



写真2 復刻ノオト

### 4 ぜひ弾きに、聴きにいらしてください！

平日のお昼休み、12時から13時は、一般の方もご利用いただける「お昼休み演奏」時間です。ぜひ一度演奏

にいらしていただけたら嬉しいですよ（GYMLABO利用者にご配慮いただきます）。また、一般利用の方や学生、教職員など、さまざまな方が演奏されていますので、ぜひ一度聴きにいらしてください。他にも、お昼休み演奏の一環として、月に一度、本学の演奏者による「ランチタイムコンサート」も実施しております。毎月20日（土日祝日や試験期間に重なる場合は日程変更）に開催し、YouTubeでのLive配信もしております。

「遠慮せず思いっきり弾きたい！」方には「1day ストリートピアノ」企画がございますので、この日は好きな曲を思いっきり演奏させていただきます。また、子どもから大人まで様々な年齢の方による多種多様な音楽が楽しめる1日ですので、ぜひ聴きにいらしていただけたら大変嬉しいです。

その他、子どもたちの発表会企画や、プロミュージシャンによるコンサートなど、様々な企画をご用意しております。素敵な音色を聴きにぜひお越しください。

### 5 今後の企画のご案内

各企画の詳細や参加方法は随時は

### 今後の企画のご案内

日程	曜日	時間	イベント	備考
9月20日	火	12:10~12:50	ランチタイムコンサート	
10月9日	日	10:00~18:00	ピアノ DAY	工大祭の中での企画。要事前申込 ・1day ストリートピアノ開催 ・小学生向けのワークショップを行います。 ・YouTuber ピアニストもゲストで登場します！
10月20日	木	12:10~12:50	ランチタイムコンサート	
10月25日	火	18:00~20:00	産学音楽交流ジャズライブ ～蘇ったベーゼンドルファーを聴く～	詳細は同封のチラシをご覧ください。

Twitterでご案内いたしますので、フォローをお願いいたします。

GYMLABO  
公式 Twitter

